



The Friendship Force of Western Tokyo

No. 01

2000

August

会報発行によせて

会長 佐原 泰子



第1回会報ということでご挨拶させていただきます。
1981年、ザ・フレンドシップ・フォース東京が、
日本で初めて発足して以来19年の歳月が経ちました。
亡夫佐原勇は、東京クラブ初代会長となり、1986年
にはインターナショナル・ボランティア・オブ・ザ・
イヤーをアトランタ本部長 Dr. ウェイン・スミス
から授与されました。ライフワークとしてこの会の発
足、発展に力を注いで参りましたが、昨年11月に志
半ばにして倒れたため、今回会長という大役をおおせ

つかりました。

ホームステイで芽生えた友情は国を超え、民族、宗
教を超えて固く結ばれて来ました。地味な草の根運動
ではありますが、現在の国際社会においてはなくては
ならない大事な相互理解と友情の礎となるものです。
小さな一歩からではありますが、国際親善を深め、世
界平和に貢献できるよう、これからも皆様の活発な活
動と、ご支援ご協力をよろしくお願い致します。

「T.F.F.西東京 2000 年の集い」ご案内

2000 年 10 月 21 日 (土) 10:00～

市民フォーラム 4F

今後の活動予定を話し合いたいと思います
積極的なご参加をお待ちしております。

ーザ・フレンドシップ・フォースとは

南ソウルクラブ受け入れ報告

交換担当者(ED) 石田 充

本年の国際交流は、3月18日(土)より24日(金)の間に行われ、韓国南ソウルクラブのアンバサダー(民間大使)を迎えました。一行は22名(男性5、女性17)で、12家庭に受け入れをお願いしました。

滞在中の主な行事は次ぎの通りです

20日(月) 18時より、ホテルザ・エルシー町田にてウェルカム・パーティ。約60名が参加。伊藤公介衆議院議員、中里猪一市会議長が来賓として出席。和やかな雰囲気の中で、参加者相互の活発な交流が進みました。薬師太鼓演奏と日本舞踊に応じて、「アリラン」と「釜山港へ帰れ」の歌もあり、会を盛り上げました。

21日(火) 鎌倉・箱根へ日帰り旅行。鎌倉では

建長寺と大仏を見学。箱根では大湧谷、芦ノ湖を見て、箱根神社へ参拝。

23日(木) 市長表敬訪問と施設見学。市役所で寺田市長に表敬訪問後、リサイクルセンター、薬師池公園、国際版画美術館、市総合体育館を見学。17時より佐原会長宅にてパーティ。美味しい料理と飲み物をいただきながら、打ち解けて話し合い、歌い、楽しい一時となりました。

私は初めて交換を担当しましたが、皆様のご協力、デイ・ホストや韓国語通訳のボランティアの皆様のご援助により、今回の交換が無事に終了したことを感謝申し上げます。

小出喜朗

アンさんとミンさんは、どんな韓国女性なのだろうと、ちょっと心配な日々を過ごしていた。到着したバスから次々と降りて来る人々は、楽しげに明るい表情で話している。

ホストファミリーとの対面、紹介が始まり、「アンニョンハセヨ」と用意した言葉を言うひまもなく、流暢とは言えないながらも日本語で、「こんばんは。お世話になります」と、弾んだ声で挨拶をされました。今までの不安な気持ちが、スーッと消えていく。「お疲れでしょう。お風呂はいかが?」「結構です」「それではお酒でもいかがですか?」「それでは正宗を少し」(日本の清酒は正宗で、焼酎は真露だそうです)

小さなコップで乾杯してから、寝室へ案内し私たちも

ほっとして休むことにした。

翌朝、韓国の食べ物とキムチを用意したところ、「ありがとうございます。でも、国へ帰れば、いつでも食べられます。日本の日常生活を知りたいので、お気持ちにはありがたいのですがどうか普段の生活でお願いします」といわれたので、納豆や梅干をならべました。色々質問されるので、辞書や漢字を駆使しての説明は大変でした。

儒教の精神なのか、家庭内の秩序や、祖先を敬愛する心、素晴らしい社会感覚と国の将来に対する展望を持つ、素晴らしい方をお迎えすることができ、とても幸せでした。

百田弘子

ホストファミリーを3、4回経験しましたが、今回は子供は独立し、主人も仕事が忙しく、一人では大変だと思い、デイホストに決めました。

町田市の施設見学、鎌倉箱根のバス旅行、お別れパーティに参加しました。ホストファミリーと違い

ゲストの食事の支度や、おしゃべりもなく、その日のことを一つ一つ反省することが出来て、デイホストも良いなーと思っておりました。しかし、ホストファミリーの自宅で焼き肉パーティに参加した日のことでした。ゲストとホストの和気藹々と楽しそうな雰囲気の

中で、一人で帰宅する気持ちは、寂しさでした。自宅の鍵をあげながら今度は絶対にホストファミリーになる、こんな気持ちになるなど思いもしませんでした。

日本大会報告

村上トシ子

2000年5月20日～21日、埼玉県浦和市で行われた、第14回TFF日本大会に参加しました。会場のワシントンホテルに入りますと、5月11日～13日に台湾で開催されたアジア大会に参加した方が、再開を喜び談笑している姿があらこちらにありました。午後1時より主催者である埼玉クラブの佐藤会長の挨拶から始まり、TFFのSarah Wynn, TFF活動支援日本委員会・来賓挨拶と型ど通りに式次第は進行了。その後、故佐原勇西東京クラブ前会長の追悼コーナーがあり、東京クラブの丸井元会長の記念スピーチから、佐原さんは、日本のTFFを育てるために大きな働きをされた方なのだと改めて知りました。全員で黙祷の後、佐原泰子会長のお礼の挨拶があり、その中で、FF本部と西東京クラブに多額のご寄付を頂きました。前会長の、これからがんばってとの励ましの言葉と受け、当クラブで有意義に使わ

ホストファミリーを自分自身が一番楽しんでいただ、と気がついたデイホストの経験でした。

せて頂きます。ありがとうございます。

午後2時から始まった全体会は、各クラブから出されたアンケートをもとに5人のアドバイザーを交えて活発な質疑応答がありました。これにつきましては、いずれお知らせできればと思います。

翌21日代表者会議の後開かれた会では、新クラブ紹介後、各クラブの体験発表と続きました。TFF愛媛ではザンビアから始まった受け入れで白布に双方のメッセージを記して次の訪問国へ手渡して行くとのこと、いつか西東京クラブにも各国のメッセージの入った布を持ったアンバサダーが訪れるかも、と思うと楽しみです。TFF山形では、ホストとアンバサダー双方に出稿してもらい記録集を出したこと、TFF埼玉からは「アフリカ（ガーナ）への旅」と題して旅の体験談をされました。来年の日本大会は宮城県で開催されますが、一人でも多くの参加者があればと思いました。

第17回TFFアジア大会報告

高垣 孝

2000年5月11日～13日に渡って、台湾の台中市で開かれた第17回フレンドシップ・フォースアジア大会に参加させてしました。台中市内は気温も30度近くやや暑かったのですが、地震の爪痕もなく大変な活気を呈していました。アジア大会は、まずバスで海鮮料理のレストランへ行き、約150名程(日本から40名)集まって海鮮料理をいただきながら、台湾の民族音楽や民族舞踊を楽しみました。特に民族舞踊は、テンポの速い勇壮な踊りが印象的でした。またホストファミリーと久しぶりに会う人達も多く、あちこちで写真をとったり、談笑する風景が見られ大変和やかな歓迎夕食会でした。

2日目(12日)は、午前中台中市議会を訪問し、孫文

や蒋介石の写真が大きく掲げてある、荘厳な雰囲気のある議場に案内してもらいました。そのあと市内の民族公園を訪れ、伝統の民芸品を見てまわり、昔懐かしい粘土細工の講習を受け、各自思い思いのパンダを作って、おみやげに持ち帰りました。バーベキューの昼食の後、ホテルに戻り、FFの開会式及び各クラブの報告会が開けました。各国の参加人数は日本40名、米国1名、ニュージーランド2名、韓国7名、台北13名、高雄5名、台中46名でした。フィリピン、シンガポール、香港、中国、マレーシア、インドネシア、タイ等、他の東南アジア諸国の参加が見られなかったのがやや寂しいところでした。

台湾は正式国交がなくなったので、こういった民間

レベルの国際交流を、官民あげて盛上げようとしている姿勢が、強く感じられました。

12日の夜はさよならパーティで、民族衣装(日本の女性の着物姿も多く)を着て、華やかな雰囲気でした。あ

っという間のアジア大会でしたが、各国の実情も分かり、知合いも増え、今後のTFF活動に参考となる点が多々ありました。

佐原前会長 追悼文 大西宣也

今思えば、故佐原さんとの出会いは十六年前に遡ります。TFFIのことが新聞報道され、その記事を目にして、こんな国際交流もあるのかと目を丸くしたものでした。

早速親子5人、合衆国ノースカロライナ州でのホームステイを体験させてもらいました。

その時のご縁で、佐原ご一家と家族ぐるみのお付き合いが始まりました。十六年後、私が佐原会長の葬儀委員長になると誰が想像できたでしょうか。まさに神の悪戯としか言いようがありません。

彼の人柄は衆目の一致するところ、実に人情味豊かで、豪放磊落、細心にして大胆、人の話をよく聞き、最良の判断が下せる有能な方でありました。

思い出も沢山残っており、私が市議会議員の選挙に立候補する際も、一番最初に相談し、快く賛同して下さい、見事な応援振りでした。当選できたのも佐原さんのおかげと感謝いたしております。

当選後、二人でTFF西東京クラブを創ろうと相談があり、町田に国際交流の拠点を置くことができるなら、それは素晴らしいことだと早速実行にとりかかりました。

ところが当時はまだ町あたりでは、国際交流に今

ほど理解もなく、運営がうまくできるのかどうか、とても心配しました。

現在の隆盛の前には、紆余曲折もありましたが、佐原さんの行動力と持ち前の明るさで、人々を引き付けてくれました。

この活躍はTFFIの注目するところとなり、1986年アジアで初めてのボランティア・オブ・ザ・イヤー賞を受賞されました。

これはTFF西東京にとって最大の名誉として、後世に永くその功績を伝えさせていただきます。

そのTFF西東京もご夫人の泰子様がその遺志を引き継がれ、会長としてご尽力下さることになり、前会長もお喜びのことと思います。

勿論、私ども会員一同より会長就任を歓迎いたしております。

私達は今後も故佐原前会長の遺志を継ぎ、TFFIならびにTFF西東京の益々の発展のために尽力したいと思います。

この追悼の言葉がTFF西東京の会報第一号に報告することになるとは、まさに痛恨の極みであり、会員一同、深く哀悼の意を表し、心からご冥福をお祈り申し上げます。

佐原泰子

去る5月20日埼玉クラブ主催により第14回ザ・フレンドシップ・フォース(TFF)日本大会がとり行われ日本各クラブから総勢162名参加の中、西東京クラブからも、大西、石田、村上、高垣、私の5名が出席、西東京クラブ前会長佐原勇を悼む会を設けて頂きました。アメリカのアトランタ本部からサラ・ウィン氏も出席され、その場でザ・フレンドシップ・フォース・インターナショナル(TFFI)と西東京クラブにそれぞれ皆様からのご厚志を寄贈することができましたことをここにご報告いたしますと共に、重ねて皆様にお礼申し上げます。(西東京クラブに、20万円ご寄付いただきました)